

2022
MPCPC
award特別賞
NTTコミュニケーションズ株式会社

「電話で認知力チェック」サービス

電話をかけて20秒で認知力低下の兆候を検知

超高齢化社会を迎えるなかで、高齢者自身が主体的に認知機能の低下兆候を早期検知できれば、適切な対応を進めることができる。

認知力の回復につながるMCIステージでの検知は病院や専門機関でしか診断する方法がなかったが、NTTコミュニケーションズの「電話で

認知力チェック」サービスは、電話をかけるだけで、人の認知力を20秒で見える化することを可能にした。特別な機器やアプリは不要だ。

本サービスを利用することで、いつでもどこでも自身の認知機能をチェックでき、結果は、本人のみならず家族や所属企業、医療機関などとも共有

できる。

利用者が指定の番号に電話をかけて対話すると、音声からAIが認知能力を判定する。

奈良県との実証実験で磨いた高齢者向けの対話エンジンを採用し、専門家が監修した認知機能判定アルゴリズムによって1008の要素から20秒で判定する。

自動車免許更新試験にて実証利用した自治体もあるという。

国内における認知症の医療・介護に要するコストは年間最大、12兆6,000億円といわれている。早期発見で認知症の発症を遅らせることができれば社会的な意義も大きい。

図 「電話で認知力チェック」サービス

